



令和2年度事業報告・決算報告 及び寄附のお願い

新型コロナウイルスの発生以来1年以上を経過しましたが、依然として収束の兆候が見えない今日です。その影響で私たちの生活も、テレワーク、ステイホーム、さらにイベントの開催制限や飲食店の営業時間制限等、多くの自粛を求められ、これまでのライフスタイルの変更を余儀なくされています。

在宅勤務によるDV被害の増加や、失職による経済的困窮者の増加等の弊害も出ています。

ひこばえにおきましては、DV被害者からの相談増をはじめ、バザーの中止による収入減、さらに大口助成金の終了など財政的にも厳しい中で、国からの持続化給付金や大口の寄附により、何とか活動を継続することができました。

その一方で、うれしい話題として、この10年余のひこばえの活動に対し群馬県や国の公益法人から表彰されるなど一定の評価をいただきました。これもひとえに皆様からの人的・資金的協力の賜と心から感謝申し上げる次第です。

まだ先の見えないコロナ禍ではありますが、これからもDV被害者の救済とDVの撲滅に向けて全力で取り組んでいきたいと思っております。引き続きのご支援ご協力の程よろしく願いいたします。

最後に、誠に恐縮ではございますが、振込用紙を同封させていただきますので、引き続き、ひこばえの活動に対し、皆様方からの温かいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和3年 6月吉日

認定特定非営利活動法人 ひこばえ

理事長 茂木 直子

令和2年度 事業報告・決算報告について（概要）

1 事業報告

ひこばえも設立11年目を迎え、社会的にも各方面から評価をいただき、以下の表彰を受賞致しました。

- ①「群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰」（群馬県）
- ②「社会貢献者表彰」（公益財団法人社会貢献支援財団）

① 相談部門

内閣府が令和2年6月に創設した全国的なDV相談事業「DV相談+」を、全国女性シェルターネットが受託し、その相談先として当該事業に参加しました。

② DV防止部門・心理研修部門

群馬県の「セーフティネット事業」を受託し、DV被害者等に面接カウンセリングを行いました。また、相談員・同行支援員を対象にDV被害事例の検討会やカウンセリング技術向上のための研修会を月1回のペースで開催することができました。

③ 自立支援部門

県内の被害女性に対し、シェルターへの入居や生活再建のための同行支援を行いました。

④ 渉外・広報部門

コロナ禍により年3回予定したバザーがすべて中止となり、収入面でも大きな痛手となりましたが、会員間でのバザー実施によりシェルター入居者等へクリスマスプレゼントを送ることができました。

⑤ 無料学習部門

- ・学校が休校になったこともあり、前橋学習会ではタブレットに学習アプリをインストールして貸し出し、オンライン学習を行いました。
- ・無料学習会は、前橋、玉村、高崎と3カ所で開催しましたが、高崎は今年度限りで終了となりました。

⑥ 運営部門

事務所の事務スペースや来客対応スペースの確保のため、改修工事を行いました。

2 決算報告

今年度は、3つの大口助成金が終了となりましたが、コロナ禍による国からの持続化給付金や支援者からの大口寄附金をいただいたことにより、収入ベースで前年比 $\Delta 340$ 千円の減収に押さえることができました。一方、大きな支出としては事務所改修工事がありましたが、コロナ禍による事業中止等により事業費も縮小したため、支出全体では $\Delta 484$ 千円の縮減となり、何とか収支バランスがとれました。

最終的な経常利益レベルで、昨年をわずかながら上回る698千円の黒字決算を計上することができました。

(収入の部)

大口助成金であった日本たばこ産業、三井住友ボランティア基金、子供の未来応援基金が終了となり3,200千円という大きな減収となりましたが、その一方でコロナ禍による国からの持続化給付金2,000千円や大口寄附830千円等により、何とか減収分の補填ができました。

(支出の部)

事務所改修には1,870千円を要しましたが、コロナ禍における事業中止等により支出額が1,595千円の縮減となったため、支出額全体を抑えることができました。

<令和2年度決算結果と前年度比較>

区分	項目	R元年度 (円)	R2年度 (円)	構成比 (%)	増減額 (円)	前年比 (%)
収入の部	会費	388,000	419,000	4.0	31,000	108.0
	寄附金	532,326	1,619,000	15.4	1,086,674	304.1
	助成金等	4,898,000	4,112,000	39.1	$\Delta 786,000$	84.0
	事業収益	5,027,350	4,356,035	41.5	$\Delta 671,315$	86.6
	その他	21	17	0	$\Delta 4$	81.0
	合計	10,845,697	10,506,052	100.0	$\Delta 339,645$	96.9
支出の部	事業費	8,214,844	6,620,278	67.5	$\Delta 1,594,566$	80.6
	管理費	2,077,527	3,187,829	32.5	1,110,302	153.4
	合計	10,292,371	9,808,107	100.0	$\Delta 484,264$	95.3
収支の増減		553,326	697,945		144,619	126.1